

## 女川原子力発電所 定期検査・主要機器点検情報

No. 1改

(平成18年3月分)

号機	1号機	定期検査	第17回定期検査
件名	ほう酸水注入系配管接合部のにじみについて		
月日	平成18年3月2日(木)	発生	発見 確認
場所	原子炉建屋	設備	ほう酸水注入系
設備区分	それ以外の系統		
設備概要	ほう酸水注入系は、何らかの理由で制御棒を原子炉内へ挿入することができない場合、原子炉内へ中性子吸収材(ほう酸水)を注入することにより原子炉を安全に停止させる設備です。		
所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>ほう酸水注入系の漏えい検査を実施したところ、ほう酸水注入系アキュムレータ※(A)と配管との接合部ににじみがあるのを発見しました(3月2日)。</li> <li>原因調査のため、当該アキュムレータを分解したところ、アキュムレータと配管との接合部に螺旋状の傷を確認しました。</li> <li>原因は、機器の組み立て時に、アキュムレータの側面にある名称および仕様を記載している銘板がアキュムレータを支えるサポートと接触し、傾いた状態のまま回転を加えたため、傷がついたものと考えられます。</li> <li>当該配管接合部については取替えを実施するとともに、銘板についてはサポートと接触しない位置に取り付けることとしました。</li> </ul> <p style="text-align: right;">(4月7日お知らせ済み)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>傷のついた接合部については取替えを実施しました(4月17日)。</li> <li>取替え後、漏えい確認を行い健全であることを確認しました(4月18日)。</li> </ul> <p>※アキュムレータは、ほう酸水注入ポンプ運転中に発生する脈動を加圧した窒素ガスの圧力エネルギーで抑制し、ほう酸水を安定して原子炉内へ注入するための設備です。</p>		
<p>ほう酸水注入系貯蔵タンク</p> <p>にじみ発生箇所 ほう酸水注入ポンプ(A)</p> <p>原子炉圧力容器へ</p> <p>ほう酸水注入ポンプ(B)</p> <p>系統概略図</p> <p>アキュムレータ</p> <p>アキュムレータ</p>			
<p>傷</p> <p>傷拡大図</p>			
<p>アキュムレータ概略図</p> <p>全長：約750mm 幅：約191mm 容積：100</p> <p>銘板</p> <p>銘板-サポート接触箇所</p> <p>サポート</p> <p>N<sub>2</sub></p> <p>傷が確認された箇所</p> <p>リング</p>			